



資料: United Nations

「アフリカの角」地域で未曾有の干ばつ

【ニューヨーク IDN=J・ナストラニス】

国連は、アフリカの角地域（アフリカ大陸東端の半島周辺）が未曾有の干ばつに襲われており、壊滅的な被害が起きるだろうと警告している。同地域は5期連続して干ばつに見舞われており、2023年3～5月の雨季も水不足で6期目を迎える可能性もある。

アフリカの角地域全体では、2022年後半に起きた史上最長かつ最も厳しい干ばつにより、少なくとも3640万人が影響を受けるとみられる（エチオピア2410万人、ソマリア780万人、ケニア450万人など）。

国連人口基金によると、この地域には生殖可能年齢（15～49歳）にあたる女性900万人超も含まれている。彼女たちは、健康上の危険に直面しているほか、干ばつによってジェンダーに基づく暴力が激しさを増す可能性もある。

エチオピアの約1190万人が干ばつによって深刻な食料不足に見舞われ、ケニアでは約435万人が厳しい食料不足に直面している。2022年10月から12月（この時期は雨期にあたり通常は年間降水量の最大70%を占める：INPSJ）にかけて雨量が少なく、今後数カ月に亘って食料不足が深刻化することが予想される。



Horn of Africa
資料：Wikimedia Commons

ICPAC [世界気象機関が認証する、東部アフリカ11カ国に気象関連サービスを行う組織]と国連食糧農業機関（FAO）が共同で運

営する地域組織である「食料安全保障・栄養問題作業部会」（FSNWG）によれば、2023年2月までの干ばつによって、アフリカの角地域で2300万～2600万人が深刻な食料不足に直面すると見られている。

国際連合児童基金（ユニセフ）は、2023年と「今後数年間」に、アフリカの角地域を襲うかもしれない事態に備えてしっかりとした対応をするよう、国際社会に呼びかけている。エチオピア、エリトリア、ソマリア、ジブチ、ケニアの一部あるいは全体、スーダン、南スーダン、ウガンダから構成される「アフリカの角地域」は、未曾有の干ばつに見舞われており、壊滅的な被害が発生するものとみられている。来る2023年3月～5月の雨季には、（水不足により）通産6期目の干ばつが起きる可能性もある。

ユニセフ東部・南部アフリカ地域副代表のリーケ・ファン・ドゥ・ヴィール氏は、12月22日、「アフリカの角の子どもたちがこれ以上壊滅的で取り返しのつかない被害を受けないようにするためには、リソースを世界的に至急動員する必要があります。子どもたちの命と尊厳、そして未来を守るために、私たちは今行動しなければならないのです。」と語った。

2022年、ユニセフとそのパートナーは、約200万人の子どもと女性に対し命を守るために不可欠な保健ケアサービスを提供、生後6カ月から15歳までの約200万人の子どもに麻疹（はしか）のワクチン接種を実施、270万以上の人々に飲用・調理用・個人衛生用の安全な水を提供した。



資料：UNICEF

ユニセフは、子どもやその家族を救うために2023年に7億5900億米ドル規模の緊急支援が必要だとして要請を続けているが、とりわけ教育

や水、衛生といった分野における迅速かつ柔軟な資金提供が必要とされている。2022年には重大な資金不足に陥っていた。

子どもたちとその家族の命を守る支援を提供するための、ユニセフによる7億5900万米ドルの2023年向け緊急資金要請では、とりわけ今年への対応で著しく資金が不足した教育、水と衛生および子どもの保護の分野における、適時かつ柔軟な資金支援を求めている。さらに、子どもとその家族の再起と気候変動への適応を後押しする長期的投資を支援するため、6億9000万ドルを必要としている。

ユニセフによると、エチオピアやケニア、ソマリアで厳しい干ばつによる影響を受けている子どもたちの数はこの5カ月で2倍になっているという。

気候変動や紛争、世界的なインフレと穀物不足によりこの地域が大打撃を受け、深刻な飢えや渇き、感染症の脅威に晒されている子どもの数が、昨年7月時点の1000万人から約2020万人へと増えている。

ユニセフ東部・南部アフリカ地域事務所のヴィール副代表は、「体系立った迅速な取り組みにより、懸念されていた最悪の影響はある程度緩和されたものの、アフリカの角地域の子どもたちは、2世代以上が経験したことのないほど深刻な干ばつに直面し続けています。飢えや感染症で死の淵に追い詰められている、または、食料や水、家畜用の牧草地を求めて住処を離れざるをえないような、子どもたちや家族が驚くほど多くいます。彼らの命を守り、レジリエンスを高めるために、人道支援を継続しなければなりません。」と語った。

エチオピア・ケニア・ソマリアでは、200万人近くの子どものうち、飢えの最も重い分類である重度急性栄養不良の緊急処置を必要としていると推定されている。

現在、アフリカの角地域では次のような状況が生まれている。

- ・ 200万人以上が、干ばつが原因で国内避難民となっている。
- ・ 2400万人に迫る人々が深刻な水不足に直面し、水を安定して得られない人口が2倍以上に高まっている。
- ・ およそ270万人の子どもが干ばつのために登校できず、さらに推定で400万人の子どもが退学を余儀なくされる恐れがある。
- ・ 増大するストレスで家族が追い詰められる中、子どもたちは児童労働、児童婚、**女性器切除 (FGM)** などのリスクに直面している。
- ・ 食料不足や住居の移動のために、性暴力や性の搾取などジェンダーを基盤とした暴力も拡がっている。



資料：SDGs Goal No. 13

ドナーやパートナーのあたたかな支援により、ユニセフはアフリカの角地域全域の子どもとその家族へ命を守るサービスを提供し続けるとともに、さらなる状況悪化への備えを整え、レジリエンスを高め、主要サービスを強化している。(12.26.2022) INPS Japan/ IDN-InDepthNews

